

学習状況診断票（数学） 中学校 第1学年

1年 組 番 氏名

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			
	大問	小問	通番		考見 え方 方や	表 現 理・	知 理 解・	
数と式	①	1	1	正の数，負の数の分数を含む加減の計算をすることができる。				
		2	2	正の数，負の数の累乗を含む乗法の計算をすることができる。				
		3	3	正の数，負の数の分数を含む除法の計算をすることができる。				
		4	4	正の数，負の数の減法と除法の混じった式の計算をすることができる。				
		5	5	1次式の項をまとめて計算することができる。				
		6	6	分配法則を使ってかっこをはずし1次式の計算をすることができる。				
	②	1	7	負の数の大小関係を理解している。				
		2	8	加減の混じった式を加法だけの式になおす計算の仕方を理解している。				
	③	1	9	文字式を書くときの約束を理解している。				
		2	10	文字に数を代入して，式の値を求めることができる。				
		3	11	文字を使った式の表す意味を考察することができる。				
	④	1	12	方程式が等式の性質を使って変形できることを理解している。				
		2	13	1次方程式を解くことができる。				
	⑤	1	14	問題の数量関係を表す線分図として適切なものを考えることができる。				
		2	15	方程式をつくるため，問題の数量を関連付けて考えることができる。				
			16	方程式を解いて，問題の答えを求めることができる。				
	⑥	1	17	ご石の数の求め方を，文字式を使って説明することができる。				
		2	18	ご石の数を求める式から，ご石の求め方を説明することができる。				
数量関係	⑦	1	19	平面上の点の位置を表す方法として座標の意味を理解している。				
		2	20	比例のグラフから式の求め方を考え，関係を式で表すことができる。				
	⑧	1	21	比例で， x の値に対応する y の値を求めることができる。				
		2	22	比例定数が分数のグラフをかくことができる。				
	⑨	1	23	反比例で， x の値に対応する y の値を求めることができる。				
		2	24	反比例のグラフの特徴を理解している。				
	⑩	1	25	具体的な事象の関係を式で表すために，比例の考え方を利用できる。				
		2	26	変域のある比例の関係で， x と y の変域を考え，不等号を使って表すことができる。				
						/8	/12	/6

今後の学習に向けて *自分が頑張りたいところに○を付けましょう。

見方や考え方	<ul style="list-style-type: none"> 文字を使った式がどんな数量を表しているかを考えるには，1つ1つの文字がどんな数量を表しているのかということから順序よく考えましょう。 方程式をつくるには，ある数量を文字で表し，問題文から図などを利用して数量の関係を考え，等しい数量の関係を見つけて式に表しましょう。 比例のグラフから式を求めるには，何が分かれば式を求めることができるのかを考え，そのためにグラフから読み取ることを考えましょう。
表現・処理	<ul style="list-style-type: none"> 正の数，負の数や1次式の計算では，計算のきまりに従って，順序よく計算したり表したりするようにしましょう。 xについての方程式を解くには，等式の性質を使ってxを導き出しましょう。 yがxに比例するあるいは，反比例することが分かっているとき，式から対応する値を正確に求めたり，グラフから点の座標を正確に読み取ったりするようにしましょう。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 数の大小を考えたり，加法と減法の混じった式の計算をしたりするには，符号や絶対値，計算の規則に目をつけて考えればよいことを教科書で復習しましょう。 方程式を解くには，等式の性質を使っていることを復習しましょう。 座標平面上に表された点の座標の表し方を確かめましょう。 比例定数の値によって，比例，反比例のグラフがどのように変わるのかを復習しましょう。